

議会だより

せら

CITIZEN

1:07.36

First Time

高等学校駅伝競走大会

CITIZEN

2:01.17

First Time

高等学校駅伝競走大会

快挙!! 男女W優勝

■今号の主な記事

- 世羅町議会基本条例を可決…………… 2~3
- 世羅町第2次長期総合計画を可決…………… 4~5
- 請願・陳情…………… 8
- ズバリ 町政の現状 13議員26問を質す …… 10~23
- 元気な人紹介 …… 24

No.44

平成28年1月15日発行

メールアドレス gikai@town.sera.hiroshima.jp

発行／広島県世羅町議会 編集／議会広報広聴調査特別委員会

条例を可決

平成27年

第4回定例会

平成27年第4回定例会は12月7日から17日まで開会し、議案17件、同意1件、請願・陳情10件、発議7件を審議した。一般質問は、13人全員が26項目にわたり施政を質した。

世羅町議会基本条例の概要

町議会では、議会改革を推し進め、議会運営の基本事項を定めることにより、議会としての役割と活動の方針を明確にするため、「世羅町議会基本条例」を制定した。

条例は、議会における最高規範となるもので、その内容は

- 総則
 - 議会と議員の活動原則
 - 町民と議会との関係
 - 議会と町長等との関係
 - 自由討論の拡大
 - 議会及び議会事務局の体制整備
 - 議員の政治倫理
 - 最高規範性及び見直し手続き
 - の8章、21条からなる条例である。
- 町議会では、本条例の制定を機会に、町民からより信頼される議会を目指す。

年頭のごあいさつ



世羅町議会議長

中村 幸雄

新年明けまして、おめでとーございます。

町民の皆様方には、ご壮健にて輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶びを申しあげます。また平素は、町議会運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申しあげます。

昨年10月に発足した第3次安倍改造内閣では「新・三本の矢」の実現を目的とするプランの策定等に着手しており、また同時期のTPP協定に関する閣僚会合での大筋合意は、農業・畜産業への影響が懸念されます。中山間地であり、また農業が基幹産業である我が町としては、政権運営が今後どのように反映されるのかその行方を注視していく必要があると考えます。

そのような中、昨年12月に開催された全国高校駅伝競走大会に地元世羅高校陸上競技部が男女揃って出場し、男子は大会新記録での連覇と併せ全国最多となる9回目の優勝、そして女子は大会出場10回目での初優勝の栄冠を得て、男女同時優勝という快挙を成し遂げました。この

世羅町議会基本

討 論

反 対

生田 智康

議会が自由な討論の場として、町民を加えた二元代表制から三元代表制になるおそれがある。条例には、最高規範性があるが、最高規範とすることによって議員を奉ってくださいという考え方になる。危機管理ができていない大変危険な条例である。

賛 成

田谷 幸奏

住民の地方議会に対する評価は、住民不在の議会であるとの酷評が多く、このままの状態では、議会不要論の気運が高まる懸念がある。この条例はあくまでも議会、議員に対する行動規範が主である。町民から信頼される議会を目指す一助とする。

反 対

岡田 武士

旧甲山町議会を含め今までこうして、ここに立っているが、こんな条例がなくても何ら支障はなかった。旧甲山のとき議会報告会を提案して早速実行した。

今更条例を作らなくても、一生懸命やるのが私たちの任務である。

賛 成

米重 典子

基本条例は、提案理由にもあるように、議会の活動の指針であり、議員の行動に関して定めたものである。

町民を危うい状況に陥れるような条例を作ることはない。今回の条例制定は、議会改革のゴールではなく、新たな第一歩を踏み出すためのものである。

ことは私たち町民に感動と希望を与えてくれただけでなく、「農業のまち世羅」そして「駅伝のまち世羅」の名声を高めてくれました。

昨年の町の大きな動きといたしましては、中国横断自動車道尾道松江線の全線開通や道の駅世羅のオープンなど、新たな環境が整備されました。このことを世羅町にとって絶好の機会であると捉え、今後のまちづくりの展開に期待するところであります。

更に昨年12月に町では「世羅町第2次長期総合計画」と「地方版総合戦略」を策定しました。この2つの計画の実効性を確かなものとするために、引き続き議会活動の充実に向けて専心努力する所存であります。

また世羅町議会では、議会改革の一環として「世羅町議会基本条例」を可決、制定しました。この条例は、議会及び議員としての基本理念、活動原則等を規定しており、町民から信頼される議会の構築に向け、これまで以上に議員一人ひとりがその責任を果たさなければならないと再認識するところであります。

どうか、皆様方には世羅町議会に對しまして、格別のご理解とご協力を賜りますとともに、町民の皆様にとってこの一年が幸福な年でありますようご祈念申しあげ、新年のご挨拶といたします。

総合計画を可決

計画も併せて可決

世羅町第2次長期総合計画

平成18年9月「世羅町第1次長期総合計画」を策定してから10年が経過し、今年度で計画が満了することに伴い、新たに平成37年度までの10年を対象とする「世羅町第2次長期総合計画」が策定され、審議の結果、賛成多数で可決した。

本計画は、住民と行政が協働で策定・実施し、10年後や将来の人たちに世羅町という「たすき」をつないでいくことであり、住民全員で取り組むべき大切な事業である。

世羅町の将来像を

いつまでも住み続けたい

日本一のふるさと

と位置づけ、その将来像を実現するための基本目標として

- ・ 健康づくり
- ・ ものづくり
- ・ 人づくり

・ 安全安心づくり
・ 地域づくり
の5つを掲げ、その推進を図るものである。
具体的な事業内容については、今後、順次企画し予算などの必要な措置を採る予定である。

討 論

反 対

矢山 武

住民が希望を持てる長期計画ではなく、スローガンのに豊かで住みよい活力ある世羅町を実現するとの繰り返しでは実現できない。

賛 成

米重 典子

総合計画を策定するに当たっては、多くの町民が参画されている。

この計画を現実のものにするか否かは、町長以下執行部の手腕にかかっている。

世羅町第2次長期 過疎地域自立促進

過疎地域自立促進計画

世羅町の総合的かつ計画的な行政運営を図るため、過疎地域自立促進特別措置法に基づき、「世羅町過疎地域自立促進計画」を定めたものである。

本計画は、平成22年9月に策定し実施されているもので、その事業計画に掲げられている事業内容を見直し、実施状況により事業継続・事業完了・名称変更・新規事業に区分したうえ、事業が完了したものを除き、平成28年度から32年度の間、町の負担が少ない過疎債を利用するなどして実施するものであり、事業内容などについて審議し、賛成多数で可決した。

討 論

反 対

矢山 武

頑張っている多くの農家を応援し、その地域を守るような施策を展開する必要がある。

町道の整備計画に計上されても、長期間実施されないものが多い。

農業を中心とした地域の生活基盤を守り、将来へ希望が持てる計画を求める。

賛 成

仲行 洋

第2次長期総合計画、世羅町まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」などの施策にリンクして町の方向性を決める重要な事業である。本計画の貴重な財源である過疎債を利用することで、町の持ち出しは実質3割で済む。これから10年の各種施策に対して有効な手立てとなる計画である。

監査委員選任同意

世羅町大字黒川

山 口 敦 允 氏

人 事

平成27年12月31日の任期満了に伴い、次期任期の平成28年1月1日から同31年12月31日までの選任について意見を求められ、同意した。

報告します 委員会は今

総務文教常任委員会

ICTを活用した教育の現状

現地調査

○世羅西中学校

「ICT活用の取り組みについて」

①導入の端緒

平成24年パナソニック教育財団の実践研究助成事業に選任されたことによる。

②主な機器の整備状況

・プロジェクター型電子黒板 7台

・TV型電子黒板 2台

・タブレットPC 40台

・授業支援ソフト

・デジタル教科書



ICT授業風景

③自主研修の実施

教職員のICTスキルアップを目的とした自主研修を実施した。

④授業実践例

電子黒板の有効活用

視覚効果で集中力と理解力がアップした。

デジタル教科書の活用

教科書は高価ではあるが、効果的である。

タブレットPCの有効性

個人・グループでの思考力・表現力が深まった。

書画カメラの有効性

撮影した画像を電子黒板に映して、加筆・思考・評価・指導できる。

事務調査

○マイナンバーの進捗状況について

〔通知カードの配達状況〕

配達総数 6918通

配達状況 100%

返戻通数 473通

返戻分受け取り状況 102通

〔今後のスケジュール〕

返戻分の受け取り依頼

12月中旬に依頼開始

番号法、町条例に基づく運用開始

平成28年1月1日

個人番号カードの交付

平成28年1月以降

〔今後の課題〕

受け取り困難者の対応

高齢者（一人暮らし、認知症）に対しては、職員が出向き手交、委任状による代理人受領などを検討。

受け取り拒否者の対応

本人の意向を確認したうえで、説得予定。

〔その他〕

説明会の実施

9会場で説明済み、今後7会場で説明予定

○地域医療を考える集いについて

〔今後の取り組み〕

町議会も共催

町議会として今後は総務文教常任委員会が企画に参画することにした。

次回の集い

平成28年1月24日開催予定。現在パネラーの人選などを行っている。

○障害者支援について

〔各種支援制度の状況〕

タクシー券交付事業

交付枚数と使用枚数に大きな隔たりがあるので、その要因を分析した上、交付方法を検討する必要がある。

単助成事業補助費

各種通院扶助を支給しているが、遠方への通院者には、助成額をオーバーする場合もある。自家用車を利用した際は、自宅と医療機関との距離に応じて助成額が決まる（1kmにつき20円で積算。高速料金も加算される）。

○介護予防・生活支援

サービスについて

〔サービスの種類〕

訪問型

訪問介護（現行相当）、サービスA（緩和）、サービスB

通所型

通所介護（現行相当）、サービスA（緩和）、サービスB

〔要支援者数〕

要支援1 137人

要支援2 211人

合計 348人

〔説明・周知の現状〕

説明先

自治センター（13箇所）、任意団体（JA関係）に出向き説明

問題点

地域によりかなりの温度差がある。

要支援者数の確認ができない。

議会広報広聴調査

人事

平成27年12月21日、福田義人副委員長より提出された委員辞任願が許可された。後任の副委員長には米重典子委員が互選された。

道の駅世羅の運営状況は

現地調査

①陳情第14号「道の駅の施設整備について」

屋根の設置要望箇所や臨時駐車場の状況を現地で確認調査した。

②陳情第21号「上釜田道路拡張工事」

平成24年採択されたが、未改修であり早期改修を要する。

③陳情第22号「水路（小世良梅組等）の改修について」



下水道工事現場

町道の道路側溝が経年劣化し漏水の問題がある。

④公共下水道工事現場調査

廣瀬地区の推進・開削工法を調査、今後扇地区を進める。

所管事務調査

①「道の駅世羅」の運営状況

道の駅の売上（施設）は順調に推移、1億9千万円程度で年間の計画を上回っている。多くのイベントを実施し営業活動を強化、その結果、バス乗り入れも増加するが、支出面で警備費が増加。建設中のモニメントは平成28年3月完成予定、同4月に音楽イベントを計画。

②道路改良（町道）要望

改良必要箇所は約50箇所、60億円程度が必要、今後は状況により部分改良で対応を検討。

③橋梁補修工事は5橋を改修、順次計画的に対応。

④有害鳥獣対策と今後の対応

平成27年度パトロール事業による捕獲を強化した結果、約450頭の成果となった。集落ぐるみの侵入防止柵は17地区で45km、2千2百万円を助成、講習会も実施した。さらに、バッファゾーンは3人以上30万円を限度に10a当たり3万円を補助した。

⑤平成27年度入札発注の契約及び進捗状況（2500万円以上）

受けた。

⑥山林管理の状況

ひろしまの森づくり事業は1ha当たり1万円の負担で人工林間伐を実施。

平成28年から8月11日は「山の日」里山整備

議会改革調査特別委員会

第二回人権研修を開催

調査項目

○人権研修

議員各人の人権意識の高揚を図る目的で、6月定例会の人権DVDによる研修に引き続き、今定例会では、特に「同和問題」に関する研修を実施した。

講師に、三原市人権擁護委員で、尾道・三原・世羅で構成している尾道人権擁護委員会協議会事務局長の伊東信治さんを迎え

同和問題
「未来に向けて」

備を進めて行く。

⑦ゴミの収集状況と改善策

事業ゴミは事業者の責任で処理すること。家庭ゴミ収集方法の平準化に取り組む。

⑧公共下水道

事業変更により約106haを平成33年度までに整備する。来年度は、公立世羅中央病院に向けた幹線の設計や工事など1億5千万円余りで工事を進める予定。

と題した講演を拝聴した。同和問題の解決は、「国の責務」、「国民的課題」であるとともに、

国の責任として

①人権を尊重すること

②人権を実現すること

③人権を保護することがある。

最後に講師の、「差別が人間の手にによって作られたものなら、人間の努力によって解決するはず。今、そういう努力が私たちに求められています。」ということを確認し研修を終えた。

○議会基本条例について



人権研修

世羅町議会基本条例については、前回の委員会において「12月定例会最終日に発議により議案を提出すること及び提案者、賛成者を確認した。」今回は発議案（提案理由を含む）、世羅町議会基本条例案、世羅町議会議員政治倫理規程案を配付し、最終確認した。

請願・陳情を審査しました

10件の請願陳情審査を行い、採択6件、不採択4件となりました。

番号	件名	請願・陳情者	委員会の意見	審査結果
12	ごみ委託についての要望書	せら改革の会 代表 實久 誠	議会として調査権限がない等限界がある。委員会は十分審議を尽くして出した結論である。	不採択
14	「道の駅世羅」の施設整備について	一般社団法人世羅町観光協会 会長 山平 正登	要望の趣旨は、妥当と考える。	採 択
15	「地方創生」押しつけに反対し、地域を活性化させる施策を求める陳情書	「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動広島県実行委員会 代表 川后 和幸	すでに自治体ではその作業もほぼ終了し、今後、交付金で地域の活性化を図る段階である。	不採択
16	マイナンバーの実施を中止する陳情書	「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動広島県実行委員会 代表 川后 和幸	すでに通知カードの配達は完了し、各自治体では関係条例を制定する等実施に向けて進行している段階である。	不採択
17	TPPからの撤退を求める陳情書	「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動広島県実行委員会 代表 川后 和幸	別件の請願書と同趣旨であり、要望への発言はなかった。	不採択
18	戦争法制である平和安全法制を廃止することを求める陳情書	「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動広島県実行委員会 代表 川后 和幸	要望の趣旨は、妥当と考える。	採 択
19	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書	「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動広島県実行委員会 代表 川后 和幸	要望の趣旨は、妥当と考える。	採 択
20	TPP交渉に関する意見書提出を求める請願	農民運動広島県連合会 代表者 杉本 隆之 紹介議員 矢山 武	要望の趣旨は、妥当と考える。	採 択
21	上釜田道路拡張工事要望書	大田地区振興会連絡協議会 会長 實川 瀧雄 上釜田地区振興会 会長 高橋 浩 外3人	要望の趣旨は、妥当と考える。	採 択
22	水路（小世良梅組等）の改修について	水路改修世話人 上原 隆 橋高 史郎 堀 壽登	要望の趣旨は、妥当と考える。	採 択

陳情第15号

「地方創生」押し付けに反対し、地域を活性化させる施策を求める陳情書」に対する討論

賛成

矢山 武

高齢化・過疎化の中で、農業が中心の地域産業を守り発展させることが重要な課題である。地域が本当に頑張る時期である。

陳情第17号

「TPPからの撤退を求める陳情書」に対する討論

賛成

矢山 武

TPP大筋合意は、国民生活に大きな影響があることは明らかである。こうした問題から地域経済を守り、国民の暮らしを守るうえでも非常に大きな関わりがあり、TPPからの撤退を求める。

りがあり、TPPからの撤退を求める。

陳情第18号

「戦争法制である平和安全法制を廃止することを求める陳情書」に対する討論

反対

下原 嘉雄

戦争法制であるという考え方は誤っている。日米同盟と国際連携を強化し、抑止力を高めて日本の安全をより確実なものにする法案である。

原爆を落とさせない、戦争をしないということの抑止力をまず求めている。

賛成

矢山 武

基本的に問題解決をするうえで、一定の武力をもって解決の手段とすることは、すぐ戦

提出議案等の採決結果

第4回世羅町議会定例会（平成27年12月）

（賛否の分かれたもの）

議案番号	提出議案	採決	田谷	盛谷	岡田	米重	仲行	矢山	福田	福田	下原	新原	生田	徳光	仙光
議案第95号	第2次長期総合計画基本構想の策定について	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第96号	過疎地域自立促進計画策定について	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第97号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第98号	国民健康保険税条例及び介護保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第99号	税条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
陳情第14号	「道の駅世羅」の施設整備について	採択	○	○	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
陳情第15号	「地方創生」押しつけに反対し、地域を活性化させる施策を求める陳情書	不採択	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	●	●
陳情第16号	マイナンバーの実施を中止する陳情書	不採択	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●
陳情第17号	T P Pからの撤退を求める陳情書	不採択	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●
陳情第18号	戦争法制である平和安全法制を廃止することを求める陳情書	採択	○	●	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
請願第20号	T P P交渉に関する意見書提出を求める請願	採択	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第10号	戦争法制である平和安全法制を廃止することを求める意見書提出について	可決	○	●	●	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○
発議第12号	T P P合意内容を公開し、大筋合意の撤回を求める意見書提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第13号	議会基本条例の制定について	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対

（全員一致で決定したもの）

議案番号	提出議案	採決	議案番号	提出議案	採決
同意第3号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意	議案第106号	平成27年度介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第94号	工事請負契約の変更について	可決	議案第107号	平成27年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第100号	肉用繁殖牛新特別導入事業基金条例の一部を改正する条例	可決	議案第108号	平成27年度上水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議案第101号	老人集会所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	議案第109号	平成27年度公共下水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議案第102号	人権センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	議案第110号	平成27年度一般会計補正予算（第6号）	可決
発議第7号	証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	陳情第12号	ごみ委託についての要望書	不採択
発議第8号	議会会議規則の一部を改正する規則	可決	陳情第19号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書	採択
発議第9号	議会傍聴規則の一部を改正する規則	可決	陳情第21号	上釜田道路拡張工事要望書	採択
議案第103号	平成27年度一般会計補正予算（第5号）	可決	陳情第22号	水路（小世良梅組等）の改修について	採択
議案第104号	平成27年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決	発議第11号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書提出について	可決
議案第105号	平成27年度後期高齢者医療制度特別会計補正予算（第2号）	可決			

賛成
福田 義人
戦後70年間、平和憲法があつてこの日本が経済発展したと言える。平和であり続けるためには現憲法9条について、堅持すべきである。

反対
生田 智康
抑止力が必要であり、憲法改正もすべきである。
今まで日本はある意味で平和ボケしている。是非ともいい世界、いい日本を目指すには、平和安全法制は必要である。

争にならなくても、緊張関係を次第に強化していくものである。日本が憲法9条により平和的に解決するということが大きく変わることは明らかである。

町政の課題

13議員26問を質す

ページ	質問者	質問事項
11	仲行 洋 議員	1. 人事評価制度について 2. 平成28年度予算と今後の財政展望は
12	仙光 保喜 議員	1. 森林の整備にもっと力を注ぐべきでは
13	矢山 武 議員	1. ゴミ（家庭）収集の実態と町委託車の使用状況は 2. 作況97で、来年の農業の見通しとTPPでさらに厳しくなるが、具体的な支援を 3. 介護保険の2割負担と包括支援センターと町の介護支援は
14	福田 豪 議員	1. 世羅町での営農はどのように展望すればよいのか
15	新原 浩 議員	1. これからの自治センターの活用と支援について 2. 今年度の除雪整備体制は大丈夫か
16	田谷 幸奏 議員	1. 世羅町における医療の現状と課題について
17	生田 智康 議員	1. 米農家の所得向上と世羅町経済の向上について 2. 世羅町教育の国際化はどう考えるのか 3. 宇津戸臭気公害20年を迎えて
18	米重 典子 議員	1. 町税・国保税の収納率の向上対策は 2. 婚活支援事業に対する町の考えは
19	福田 義人 議員	1. 地域包括ケアをどのように構築するか 2. 道の駅「世羅」は地域活性化につながったか 3. 期待されたイノシシパトロール隊の成果は
20	盛谷 光明 議員	1. マイナンバー制度について 2. 災害廃棄物処理計画策定の推進について
21	徳光 義昭 議員	1. 世羅町の地方創生総合戦略策定を問う 2. 選挙制度の大改革を問う
22	下原 嘉雄 議員	1. 後期高齢者の人間ドック助成策は 2. 家庭ごみ収集業務の平準化は
23	岡田 武士 議員	1. 信号機のない交差点をラウンドアバウト式にしては 2. 野積み堆肥の処理経過は

新人事評価制度の今後の課題は

答 町に合った人事評価を確立する



仲行 洋 議員

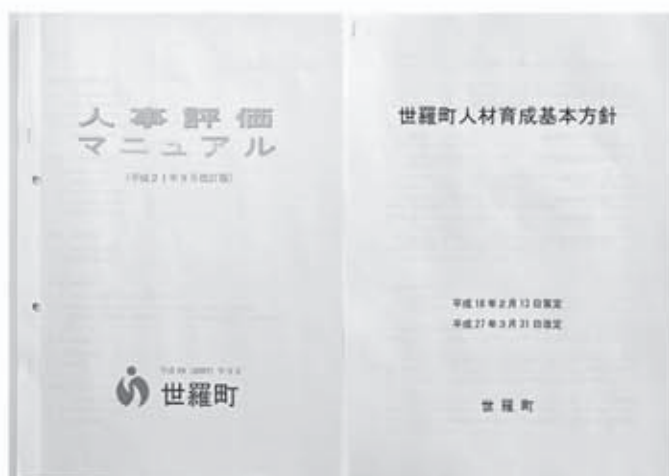
町長

本町は職員一人ひとりの全人格の成長が町の未来を築くという理念のもと、世羅町に合った人事評価を確立してきた。

平成28年4月1日から法律に基づき全職員に対して人事評価を行う。管理職が職員の評価をすることになるので、一定の評価のできる評価者の研修を進める。評価の仕方は絶対評価で評価基準に基づき、その人の能力、業績を総合的に評価する。給与への反映は人材育成を基本に、今後の課題と受け止めている。全職員を対象とした人事評価制度を円滑に実施するには、労働組合の理解を得ることが重要であるので、丁寧な労使協議を進める。

仲行

改正地方公務員法では平成28年度から「任命権者は人事評価を任用、給与、分限等人事管理の基礎とする」とされているが町の取り組み状況は。



町の人事評価制度は

町長

新町建設計画や第2次長期総合計画、過疎地域自立促進計画をもとに事業内容を精査し、スクラップ・アンド・ビルドの政策原則を徹底する。

合併以後財政健全化計画により積み上げた成果を維持しながら、人口及び産業対策、自然災害対策、道路・橋梁などの長寿命化などに取り組み、町民サービスの向上に取り組む。

今後の財政展望は厳しい財政運営を予想している。地方交付税の減額や人口減少に伴う町税の減少などから財政規模は縮小し、財源不足も生じると見込んでいる。しかし歳入の減少に見合う事業執行や、より有利な地方債の活用によってまちづくり施策に取り組んでいけると考える。

そのためには本町に必要な事業かどうか取捨選択し、現在継続している事業の再構築を進めていくことが課題である。

仲行

平成28年度予算の編成方針と今後の財政は。

答 厳しい運営を予想

どうなる町の財政は

森林整備にもっと力を

答 国や県の事業を活用し推進



仙光 保喜 議員

仙光

町の面積の約7割を占める山林は荒れ放題で、イノシシや鹿の住み処となり植林されたヒノキも食い荒ら

されている。樹木が茂り田畑が日陰になり作柄に影響を与える。また、道路の見通しを悪くし道を狭くしている。バス等の大型車両は通行が困難である。

世羅町第2次長期総合計画の中では「多面的機能の保持と活用の促進」と掲げてある。しかし、過疎地域自立促進計画の中には森林病害虫防除事業1つしかない。

中山間地域に位置する世羅町はもっと山林事業に力を注ぐべきではないか。

脱温暖化や環境保全に対する町民の関心が高まっている。また町は再生可能エネルギー設備の設置補助事業にも取り組んでいる。

山林整備は、山の再生が少しでもできる組織、循環型の仕組みづくりの構築が必要ではないか。

町長

国や県の事業を活用し推進する。

町は、「ひろしまの森づくり事業」をはじめ、森林病害虫防除事業などを実施または計画している。「ひろしまの森づくり事業」は、「里山林整備事業」として景観及び危険箇所を考慮し、所有者の同意のもとに、主要道路沿線の枯松の伐採を実施している。

山の荒廃は過去に指摘されているが、町が管理すべき町道及び林道について交通の妨げや、倒木の危険性のある箇所の確認を行い、影切りや伐採等を実施したい。また、農地に隣接した山林は、町単独事業である「集落里山林整備事業」を、有害鳥獣対策と併せて活用していただきたい。

森林山村多面的機能交付金は現在6団体が活用されている。今後も、広く有効活用を図っていく考えである。

町としては、第2次長期総合計画・過疎地域自立促進計画に基づき、町民の安全安心はもとより、景観に配慮した森林整備、手つかずの人工林の再生など、国や県の事業を活用しながら推進する。



守れ！里山



矢山 武 議員

ゴミ収集の現状は

答 報告書により実態把握

矢山

ゴミ収集委託の状況と事業の安定運営のため、実態の把握に努められたい。
事業ゴミと家庭ゴミの収集は分けるべきで、町委託車の運行状況を把握しているか、町委託車による事業ゴミの収集があるのではないかな。

町長

委託車両は、5業者10台を登録した限定車両である。翌月の報告書で収集区域・時間・距離を確認している。また、ルートにピックアップし、実態把握に努めている。事業ゴミを家庭ゴミとして出さないよう啓発や指導を行う。

米の不作とTPPで具体的支援を

答 県・JAと連携し取り組む

矢山

米価が低迷する中、農家の生産意欲は、大きく下がっている。今後、家族農業への対策を強化し、後継者の育つ農業のため、コストに合わせた価格にすべきである。TPPは、事後対策では守れないがどう考えるか。

町長

農業対策で機械格納庫への支援をしている。国の新規就農交付金や町のニューファーマー事業で支援をする。持続可能な農業へ、県・JAなどと連携し取り組む。



町の農業対策は

介護保険の改悪と包括支援は

答 地域包括ケア

システムを構築

矢山

介護保険制度の改正により、町の事業となるサービスの人材確保と受けられるサービスはどうなるか。包括支援サービスはどうなるか。

消費税10%への引き上げと併せて要介護1・2のサービスを介護保険から外し、自己負担を3割に引き上げようとしているが。

町長

地域支援事業へ移行するサービスは、事業者や地域団体に説明している。
要介護3以上の施設入所判定については、これまでも介護度が重く入所の必要性が高い方を優先しており、利用者の限定による混乱は聞いていない。70人が2割負担となった。平成37年に向け、地域包括ケアシステムの構築に取り組む。

農業の展望は

【答】継続的な政策展開を



福田 豪 議員

福田豪

長期、中期の「町づくり計画」が策定されている。

一方で、TPPが大筋合意した。また国内にあつては、今年産米はいくらか持ち直したとはいえ、米価は低迷からの出口が見出せない。そればかりか需給バランスも不安定なままとなっている。

計画にはこうした要素をどう位置づけるのか。

さらに農業者には、将来展望をどう見出させようとするのか。

町長

継続可能な政策展開をしたい。農業には土地や機械、施設などのハード面と、技術や販路などのソフト面の、両面での経営資源が求められている。さらに現場では、充実した体力と気力が求められる。今後も営農が継続できるように、政策展開したいと考えている。



これからの農業展望は



新原 浩 議員

これからの 自治センター活用と支援は

答 地域包括ケアシステムへの

支援体制の構築

新原

- ①平成28年度から予防給付サービスの内、訪問・通所サービスの一部を地域支援事業に移行する計画があるが、地域の活動拠点等に対して、福祉支援活動への取り組みをどう具体的に推進するのか。
- ②自治センターの公用車の活用方法について、検討しているのか。

町長

- ①住民の参画による多様なサービスを提供して行くため、町独自の介護予防サービス案を作成し各活動拠点に説明を行っている。
- ②先進地を視察し、取り組み状況について伺い、中国運輸局広島運輸支局から、道路運送法などの法令等に関するアドバイスを受けて、今後諸課題を解決しながら、実現可能な方法を検討していく。

今年度の除雪整備体制は

答 除雪業務の委託先を増やす方向

新原

昨年度除雪要請をしたが、整備されていなかった地域が一部あった。検証と今後の対策は。

町長

除雪が必要な時期に作業が行き届いていない地域が一部あった。各業者の作業員減少と作業機械が絞られており、適切な対応ができなかった。今年度の除雪においては委託業者を1業者に加え13業者と契約を予定している。

倒木等については、旧町単位で路線委託をしている。3業者に指示をしている。



今年度の除雪対策は

町の医療の現状と課題は

答 あらゆる方法で健康増進を図る



田谷 幸奏 議員

田谷

- ① 病気になるない健康な体づくりの施策は。
- ② 特定健康診査・疾病予防策の内容は。
- ③ 医療費に対する個人負担の軽減策は。
- ④ 通院治療のための交通手段の確保は。
- ⑤ 国民健康保険事業事務の動向は。
- ⑥ 地域医療の現状と今後の展望は。

町長

- ① 健康増進計画に基づき、健康出前講座・ケーブルテレビの活用・町広報等により健康増進の啓発を行っている。
- ② 町の健診には、総合健診・誕生月健診・個別健診・国保人間ドックなどがあり、病気の早期発見、早期治療を図っているが、今後も受診率の向上に取り組み、より一層の予防対策に努める。
- ③ 一人ひとりがかかりつけ医を持つこと、同じ病気での複数医療機関での受診を控えること、薬の自己管理の徹底、後発医薬品差額通知等医療費の適正化に関する啓発等に取り組んでいる。
- ④ せらまちタクシー運行会議で、利用者のニーズ把握、運行上の課題等の情報の共有化を図り、通院のため利用する人等が利用しやすい交通システムとなるよう改善策等について検討する。
- ⑤ 平成30年度から広島県が市町村とともに保険者となり、運営する予定である。これにより、町民が負担する保険税額は、現在世羅町が県内では低いことから、今後上昇する可能性があるものと認識している。
- ⑥ 「地域医療を考える集い」は、議会、世羅中央病院企業団、世羅郡医師会などの協力により実施しており、3回目の集いを平成28年1月24日、せら文化センターで開催する予定であり、町全体で地域医療を考える気運を高めるため、今後、町広報などを利用して周知を図ることになっている。



地域医療拠点・世羅中央病院

所得向上と経済の向上策は

答 世羅米のブランド確立、
ストーリー性も考えたい



生田 智康 議員

町長

①用途ごとに加工適性の優れた多収品種の選定や技術の開発を関係機関と連携したい。
②米を核として販売するには、せらの認知度、ネームバリューが重要。
③新たな商品開発と共に、県へのPR、「タウ」への売り込みを推進したい。
④世羅米の特徴や大田庄のストーリー性を生かした新たな商品として、市場や販路の開拓で世羅米のブランド化を確立したい。大妻学園の学食では世羅米を使用している。

生田

①米農家の所得向上と町の経済の向上について具体的にどう取り組むのか。
②「オールせら」で取り組むことはどうか。
③「タウショップ」への売り込み強化を図るべきでは。
④世羅米の物語を考えよう。

教育長

①ハワイに町の中学生が交流のため、平成24年度6人、25年度6人、26年度8人及び、27年度8人で、平和学習、文化遺産学習等を実施している。
②フランス、マントノン市在住の世羅町出身の女性からマントノン市の小学生と世羅町の小学生との間で交流したい旨の話があった。女性はピアノリストでもあり、町内小学校四校でのピアノ演奏や本年8月にはせら文化センターでピアノ演奏会を開催された。絵を通して交流もしている。

生田

①ハワイニウ・バレエ中学校
②フランス、マントノン市との交流強化は。



中学生 海外研修

世羅町教育の国際化は
答 ハワイの中学校と姉妹校縁組で交流

宇津戸臭気公害20年を迎えて

答 平成29年度を目途に取り組む

町長

平成27年9月に、地権者側と土地の売買につき合意。現在、契約及び登記に向け手続きを進めている。
土地の利活用は第4牧場隣の土地に事務所を移設し、事務所移転後の跡地へ、新たに堆肥施設を導入予定。

生田

平成27年9月14日測定の結果、基準数値15のところ、第4牧場28、養鶏場26の値が出た。この結果を事業者に通知、早急に消臭対策を実施するよう要望したのか。また第4牧場隣の土地購入は、その後どうなったのか。

※タウショップとは、広島県の東京での物産品販売店

町税・国保税の収納率向上策は

答 納税相談等で早期に実態把握を



米重 典子 議員

町長

- ① 平成26年度一般税は、96・73%。国保税は90・74%
- ② 課税後、未納発生時には納期限後20日以内に督促状発送、翌月に催告書を発送する。それでも納付や納付相談がない場合は差し押さえ予告通知書を送付、状況によっては電話催告を行う場合もある。
- ③ 納税相談を行っている。分割納付の検討、納税者の生活実態、経済状況の聞き取りを行い、その後財産調査等実施する。納税者の生活実態に合った徴収事務を行っている。
- ④ 課税後、一連の催促を行っても納付や納税相談がない場合は財産調査等を行い、差し押さえを行うことになる。

米重

- 税収は、町の貴重な財源である。徴収業務は適切かつ確実にと考える。収納状況と徴収事務について問う。
- ① 町税・国保税の収納状況は。
 - ② 徴収事務の流れは。
 - ③ 経済的理由により納付困難な人への対応は。
 - ④ 滞納整理事務は。

町長

- ① 平成22年度国勢調査では、26歳以下男性68%、女性48・1%。30歳以下男性43・2%、女性25・3%となっており、年々上昇傾向にある。
- ② 結婚支援の推進として、「出会いサポート事業」を予定している。住民団体等との連携による取り組みとして今後検討していく。

米重

- 少子化対策の一環として、自治体による多面的な婚活支援事業が行われているが、町としての今後の方向性は。
- ① 世羅町の現状（未婚率の動向）。
 - ② 地方創生「人口ビジョン」「総合戦略」における施策は。

答 「出会いサポート事業」を予定

婚活支援事業に対する

町の考えは



広島県出会いサポート事業の現状は



福田 義人 議員

地域包括ケアの構築にむけて

答 機能の充実に努める

福田義人

住み慣れた地域で最期まで暮らせるための地域包括ケアの構築が2025年までに求められているが、医療・介護施設は不足している。町の第2次長期総合計画では医療対策の充実、特に世羅中央病院を中核とした地域医療の充実と救急医療体制の充実を掲げているが、医療の充実には200床以上の病院が不可欠だが将来計画は。



救急医療体制の充実を

町長

地域医療の充実を果たすには、経営の健全化や機能の充実が必要である。救急医療では世羅中央病院への救急搬送が年々増加しており、支援体制の充実に努め、医療需要に対応した体制づくりに努める。

「道の駅世羅」は地域活性化につながったか

答 更なる充実に向け努力する

福田義人

「道の駅世羅」は、開業の日から好調な営業状況で推移しているが、地域活性化の期待に応えてきたか。また、農産物の品薄感等はどう対応したか、生産者の地域間交流をすべきと考えるが。

町長

開業から6か月経過した現在、利用状況は当初計画を上回り、地域間交流にも活用され、町内周遊客も昨年を上回っている。農産物の品不足感の解消に向けてさらに努力する。

イノシシパトロール隊の成果は

答 通報・捕獲ともに成果が出ている

福田義人

抜本的な鳥獣被害を防止するには、パトロール隊の任務は重要である。今年発足したイノシシパトロール隊の活動成果はどうであったか。

町長

通報・捕獲件数は昨年を上回っており、成果が出ている。引き続き被害防止対策の指導に当たってもらう。平成26年度の農産物の被害は、約3千4百万円であった。

マイナンバー制度とは

答 個人番号カードにより

1枚で完了する



マイナンバー制度いよいよ始動



盛谷 光明 議員

町長

- ① 通知カードは個人ごとの番号を知らせるもので、それ自体では本人確認として利用できない。個人番号カードは申請により交付される。
- ② 個人番号カードは顔写真付きで1枚で本人確認が可能になる。将来的には自治体が条例で定めるサービスに利用可能となる。
- ③ ICチップには機密性の高い情報は記録されていない。個人番号の情報のやりとりには専用回線を利用する。

盛谷

- 公平・公正な社会の実現、国民の利便性の向上、行政の効率化の目的において、マイナンバーの活用が始まるが、次のことについて問う。
- ① 通知カードと個人番号カードの違いは。
 - ② 個人番号カードの利用方法とメリットは。
 - ③ 個人番号カードのICチップから情報漏れは。

災害廃棄物処理計画の推進は

答 広島県と情報共有や連携を

盛谷

近年、膨大な廃棄物をもたらす大規模な自然災害が頻発している。
全国の自治体では災害廃棄物処理計画の策定が進んでおらず、予期せぬ災害に備えた対策が十分とは言えない状況である。世羅町の災害廃棄物処理計画また自治体の連携体制について問う。

町長

国は市町村における災害廃棄物処理計画の策定を推進しているが、仮置場の候補地や必要面積、災害廃棄物処理量の把握や再生利用としての受け入れ先の調査など整理すべき課題が多く、県内自治体では新指針に基づく策定が進んでいないのが実態である。計画策定に向けて広島県と情報共有や連携を図りながら検討を進めていく。



徳光 義昭 議員

世羅町の総合戦略策定は

答 重点戦略に取り組む

徳光

町の総合戦略の重点戦略を問う。

- ①産業振興を通じた若い世代の就労の場づくりは。
- ②若者を中心とした移住・定住促進と子育て環境づくりは。
- ③各地域における活力と生活基盤づくりは。

町長

- ①世羅ブランド認証制度を創設し新規就農者を含めた雇用の場の確保を図る。また、やまなみ街道を利用した農外企業の団地を検討したい。「道の駅世羅」付近の産業団地構想は長期計画の中で具体化した。

- ②移住・定住に向けた総合戦略窓口を開設し、子育てと教育環境の情報を発信し、東京、大阪移住定住フェアに参加し魅力的なホームページで情報発信したい。地域おこし協力隊の導入は13自治センターで協議したい。また、町全体の産業振興など多面的に協力隊の活用を具体化したい。
- ③各自治センターでのサロンや高齢者が集う場での、子育て中の人と支えあい子育てすることが可能かどうか検討したい。自治センターでの放課後児童クラブ等の実施については、学校が終わってからの移動や安全確保などの課題があり、検討が必要である。

選挙制度の改革は

答 18歳以上の主権者教育に取り組む

徳光

- 選挙制度が70年ぶりに改正され、平成28年6月より投票権が18歳以上に引き下げられるが、
- ①直近の町の有権者数と新有権者数は。
 - ②選挙管理委員会、教育委員会、行政の指導課題は。

町長

- ①平成27年12月現在の有権者数は14,369人。18歳以上は約200人。
- ②18歳以上の選挙運動も解禁され、学校教育で若者の政治への関心を高める主権者教育に取り組む。平成27年10月に町内3中学校3年生を対象に、県・町明るい選挙推進協議会と世羅町の3者で研修会を開催した。今後、中学校及び教育委員会と協議し主権者教育に取り組む。



いよいよ18歳選挙権始動

後期高齢者の人間ドックの 受診助成策は

答 誕生月健診などで対応



下原 嘉雄 議員

町長

高齢化が進む当町での重点
取り組みとして、町民が自立
して健康に生活できる期間を
示す健康寿命を延ばすことに
取り組んでいる。後期高齢者
は、誕生月健診・個別健診・
総合健診を受診することがで
き、誕生月健診は国保人間
ドックとほぼ同じ項目をもっ
ている。総合健診では自己負
担なしで受診できる。

下原

高齢化が進む当
町でも元気な高齢
者が増えている。
健康管理につい
ては、当事者自身
の管理はもちろん
だが行政の助成も
大事であると考え
る。75歳以上の後
期高齢者の人間
ドック受診助成は
対象外とされてい
るが、考えを問う。

町長

人間ドッ
クという名
前はない
が、誕生月
健診は年1
回必ず受診
して早期発
見・早期治
療につなげ
てもらいた
い。

下原

高齢者の
三大疾病は
循環器系・
消化器系・
腎尿路生殖
器などと
なっている
が、これら
の早期発見
のため制度
として確立
を。



家庭ゴミ収集の現状は

町長

取り組むべき課題であるが、ステーションの設置場所の選
定、対象範囲の設定、合意形成が困難な実態がある。助成制
度のさらなる充実も検討し、平準化に向けた取り組みを進め
る。戸別収集は可燃ごみ・資源化ごみ・不燃ごみを路線沿い
に収集している。

下原

家庭ごみの収集方法は、ステーション方式と戸別収集方式
があるが、町として平準化しては。

家庭ごみ収集業務の平準化は

答 重大な課題と考えている



岡田 武士 議員

※ラウンドアバウト方式 交差点の導入は

答 安全・経済性を考慮し検討する

岡田 信号機のない交差点をラウンドアバウト方式にしては。



急がば回れ、環状交差点

町長

ラウンドアバウト方式は平成26年9月に道路交通法の改定で交通量と安全が確保されることが条件で、導入が示されている。この方式は、町にとって様々な課題があり、十分な調査・検討を進める必要がある。現在、信号機の設置についても県公安委員会へ要望している。

野積み堆肥の 処理経過は

答 県が中心となり

対応している

岡田

町内に放置されている野積み堆肥については、長年の課題となっている。その処理について、今後の予定が報道されたが、町としての対応は。

町長

民間事業者からの排出分は処理が終了する見込みだが、公共事業者の対応状況は、福山市及び広島市は産業廃棄物として処理する方針を決定。尾道市・府中市・三次市・庄原市の4市においても県の指導で産業廃棄物として処理する方針である。有価物である製品化された堆肥については、処理業者が広島県及び広島市と係争中のため撤去は未定である。

※ラウンドアバウト…車輛の通行する部分が環状の交差点であって、車輛がその部分を右回りに通行することが指定されている。

頑張れママさん消防団員

世羅町西上原 加藤 浩子 さん

世羅町小世良の出身、短大時代の2年間を除いてはずっと世羅町に暮らす。現在は、介護福祉士として働きながら、家庭では、2歳と1歳の子どものお母さんでもある。

父親が消防団員であったことから、小さいころから消防団に対してなじみはあったという。地元で火災が発生した時に、現場で指揮をとる父の姿に憧れ、消防団員になりたいという想いが確かなものになった。入団を希望したが、最初は認められなかった。しかし、粘り強く交渉を続けた結果、平成17年晴れて女性消防団員第1号となった。

訓練にも積極的に参加し、技術を身につけていき、実際に火災現場での消火活動にも参加するようになった。「いちばん記憶に残っているのは、小世良でアパート火災があった時に初めてホースの筒先を持った時のこと、その水圧の強さに圧倒されると同時に、何とも言えない緊張感を感じた。」と当時を振り返った。また、山火事の時に水を入れたタンクを背負って消火活動をし

たこともあったという。

その後、結婚、出産と続き、辞めることも考えたが、家族の協力や仲間の理解に支えられて続けることにした。「最近では自治体でも女性消防団員のことが取り上げられることが増えて嬉しい。世羅でも人数がもう少し増えれば。」と加藤さん。

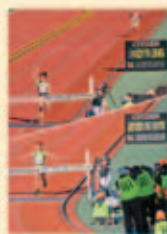
現在、町内には加藤さんのほかに、仲行さんとみさん、中島絵里さんの三人の女性団員がいる。現状では、三人揃っての活動はほとんどないようだが、地域への広報や学校での啓発活動など女性団員としての視点を活かすこともできるのではないかと思う。そのため

にも彼女たちにも彼女たちが続く人が待たれる。そして、女性消防団員への道を開いてくれた三人にエールを送りたい。



(米重 典子)

表紙紹介



12月20日京都で開催された全国高校駅伝競走大会で世羅高校は男子

子が大会新記録で最多9回目の優勝、女子は出場10回目にして初優勝を遂げた。町民が待ち望んでいた男女ダブル優勝の瞬間である。

なお、表紙写真のタイムはゴール直前の表示である。
(公式タイム) 男子(2時間1分18秒) 女子(1時間7分37秒)

編集後記

わが町も平成28年度から37年度までの10年間は対象期間とする、世羅町第2次長期総合計画が策定されました。

今後、町の将来はどう変化し進んで行くのでしょうか、いつまでも安全・安心で住みよい町であり続けることを願うばかりです。

さて、都大路で開催された全国高校駅伝競走大会では、男子は大会新で優勝9回目、女子は10度目の出場で初優勝。おめでとうございます。

町の将来も高校駅伝の運氣にあやかりたいものです。町民の皆様も選手活躍に感動と元気をもらったのではないのでしょうか、改めて感謝いたします。

(新原 浩)

議会を傍聴してみませんか
次回の定例会は3月です

日程は無線放送でお知らせします。
またケーブルテレビでも本会議の中継をしています。

議会広報広聴
調査特別委員会

委員長/下原 嘉雄
副委員長/米重 典子
委員/田谷 幸奏・岡田 武士
新原 浩

議員の寄附は罰則をもって禁止されています。議員に寄附を求めることも禁止されています。年賀状など(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことも禁止されています。